

# 基本ルール・基盤整備WGにおける検討状況等について

平成 15 年 7 月 28 日  
基本ルール・基盤整備WG  
主査 神田秀樹

## 1. 検討の方向性

「事前規制の最小化」や「民でできることは民へ」という基本方針の下、規制改革を一層推進するための新たなスキームを構築するという観点から、規制に関する基本的なルールについて、規制の新設審査やパブリック・コメント制度等といった現行制度の改善も含めて検討する。

## 2. これまでのWGの開催状況：

第1回WG（4月30日 10:00～12:00）

- ・今後の進め方について
- ・規制に係る基本ルールの検討に当たっての論点について

第2回WG（5月21日 17:30～19:30）

- ・(社)日本経団連との意見交換
- ・総務省との意見交換

第3回WG（6月18日 10:30～12:00）

- ・早稲田大学商学部 山本哲三教授（OECDコンサルタント）との意見交換

## 3. 検討テーマ

### (1) 規制の管理スキーム

規制改革の一層の推進のためには、「規制の削減・撤廃」という視点に加え、規制のクオリティコントロール（＝「規制の管理」）という視点も必要ではないかという認識に立って、そのスキームに関して以下の点について検討。

- a) 管理すべき規制の範囲
- b) 規制の管理方法、情報公開等

### (2) 規制の新設又は改廃に係る手続の見直し

- a) 規制影響分析（RIA：Regulatory Impact Analysis）
- b) 規制の新設審査の見直し

- c ) パブリック・コメント手続の見直し
  
- (3) 既存規制の改革手法の見直し
  - a ) 点検対象とする規制の範囲
  - b ) 点検方法、点検時期
  
- (4) 規制の運用ルールの見直し
  - a ) 日本版ノーアクションレター制度の見直し
  - b ) 行政手続法の見直し
  
- (5) 今後の規制改革推進体制の在り方
  - a ) 今後の規制改革推進体制の在り方（ポスト総合規制改革会議を含む。）
  - b ) 構造改革特区本部など他の組織との連携方策
  
- (6) 地方公共団体における規制改革の促進と効果的な国の関与に向けた方策

以上